

令和4年度 自己評価・運営推進会議における外部評価

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全職員が常に友朋会、千寿荘の理念が共有できるように毎日の朝礼で唱和し意識を高め利用者さんに介護を実践している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	☒ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で制限が多い状況の中でも運営推進会議の開催やバス旅行では「若木の大楠」を見学後、武雄物産館で買い物や嬉野市に建設中の「新幹線駅」や「嬉野市内」を車窓から町の変化を見て頂いた事は地域とのつながりになった。感染防止を優先し多くの人との交流は控えた。			・コロナ収束の目途はたっていませんが可能な限り外出支援をお願いします。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に会議開催はできたがコロナ禍の為、やむを得ず書面での会議開催もあった。その為、写真掲載を多くし活動内容が分かりやすいように努めた。又、『鶴亀たより』を発行し意見・感想を頂き、サービス向上に活かすことが出来ている。			・可能な限り意見を言わせて頂ければ…と思います。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度は7月28日に杵藤介護保険事務所より「実地指導」を受け密な連携が図れました。また、運営推進会議では包括支援センター長との相談、連絡が出来た。その他行政が中心になって実施されている地域ケア個別会議にリモートで参加し、事例に対し助言を頂くなど連携が取れている。			・お声掛け頂ければ出来る限りの協力はさせていただきます。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者は法人の身体拘束廃止委員会からの会議内容を職員へ伝達講習を行い、理解を深めている。毎朝業務開始前に身体拘束をしない事を声に出して唱和し意識づけが出来ている。また、年2回以上の研修を実施し自己を振り返り考える機会となっている。リモート研修や勉強会への参加もできている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・コロナ禍で勉強会の方法も工夫が必要な状況です。これからも継続をお願いします。 ・職員間の連携を十分に図り質の向上に努め更に勉強会など継続して欲しい。 ・院内での情報交換を密にされている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	友朋会の高齢者虐待防止・対応マニュアルの学習会や虐待早期発見の為の「自己点検シート（チェックリスト）」を全員実施し自己の行動の振り返りが出来た。朝礼時には接遇に関する標語を唱和し、虐待に繋がらないよう言動に努めた。異常の早期発見が出来るよう入浴時は全身の状態観察が出来ている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・マニュアル作成しての情報交換が出来ている。 ・虐待防止勉強会・研修会等行い職員間の連携が密に出来ている。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で倫理委員会の開催は無かったが看護部教育委員会の人権に関する研修会に参加できている。今後は更に後見人制度に関する資料等を取り寄せ、学習会を開催し知識向上に努めます。			
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前の見学時にリーフレットを渡し簡単な説明を行っている。また入所時には『利用者重要事項説明書』を用いて説明し、ご家族と十分に話し合える時間を取っている。必要に応じて千寿荘担当の精神保健福祉士と連携を図っている。また介護保険改定時には利用者、ご家族に改定した利用説明書を提示し、説明と同意を得ることが出来ている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	苦情相談の流れを掲示し意見箱も設置できている。公的相談窓口のマニュアルも掲示している。訪室時は利用者から生活環境面について困った事はないか尋ねている。ご家族の面会時に利用者を交え要望等が無いかな尋ねている。『療養環境アンケート調査』は年1回実施しご家族の意見を運営に反映させている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・苦情に対するマニュアル等で家族より情報を得る。 ・コロナ禍で家族と接する機会が少ないと思うのでアンケートで情報を得る。
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者は法人の定例運営会議で開設者との意見交換を行う機会がある。また事務局長や事務長、看護部長が巡回し職員の意見を聞く機会がある。千寿荘会議は毎月1回開催し、運営に関する意見や提案を出し検討している。議事録を記載し全職員に周知している。日々においても意見を述べる機会を作り相互理解につなげている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の労働安全衛生委員会の「メンタルヘルスサポート」を示し、相談はいつでも行えるように掲示している。労働安全衛生委員会の職場巡視の際にも設備面や労働環境全般に対して要望を述べる機会がある。また法人の看護部長が職場環境調査や職場ニーズ調査を行い、職員から直接意見を収集できる仕組みがある。代表者である理事長には運営会議の場や毎月の管理日誌、種々の書類を提出している。年度末に人事考課システムがあり、職員個々の実績評価をされている。業務内容や働きやすい環境作りについて見直しが出来た。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・誰もが満足できる環境の実現は難しいと思いますがこれからも継続をお願いします。 ・職場の環境の向上に励んで下さい。 ・職員同士の連携、おもてなしの精神を忘れないでください。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で感染予防対策に関する危機感を感じ研修会を実施した。「正しい手洗い方法」「正しいゴム手袋の使用方法」「正しいガウンの着脱方法」等全職員が実際に行い、第三者が評価することで緊張感を持って丁寧に実施出来ていた。中途採用の職員については時間をかけて能力に応じた仕事の教育が出来た。更に看護、介護実践能力評価表に基づき基本的な知識・技術・態度が見についているかを自己評価した上で他者評価を行い段階的なレベルアップに努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職員間の研修、勉強会等行い質、知識、技術の向上に努めて欲しい。 ・看護、ケアの向上を図り、利用者に還元して欲しい。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	院内の在宅部門会議に出席し、同業者との意見交換が出来た。又、行政が中心に行われている『個別ケア会議』に参加し、意見、助言を頂きサービスの質の向上につなげている。他の職員には伝達講習を行っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者の能力に応じた家事活動を計画しやりがいや出来る事の自信に繋げている。日々の関わりの中で、感謝、共感の言葉を使うようにしている。職員と一緒に会い会話を大切にしている。本人の意思や希望を尋ね、気持ちを尊重すると共に意欲アップにつなげている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コロナ禍で面会や外出が制限される中、タブレットの活用でお互いの顔を見ながらの会話で安心されていました。必要に応じ抗原検査を受けての面会も行うことができ関係性が保てるように取り組みました。陶芸療法の利用者様にもなじみの場所で活動され満足されています。			・何よりも大好きな陶芸が出来てお陰様で大満足の様子。友朋会で千寿荘でお世話になって良かったです。心身の安定と活性に役立たせて頂きとてもありがたいと思っています。
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者 1～2 名に対し職員 1 名の担当制も取り入れ、馴染みの関係でより利用者の思いや希望など意向の把握に努めている。千寿荘周辺の散歩を行い筋力低下防止や食後の後片付け、洗濯物たたみ等、生活リハビリとして自立支援が来ています。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者及び家族から面会やライン連絡の際にサービスに関する要望などを聞いている。サービス担当者会議では利用者、ご家族、計画作成担当者、受け持ち職員、精神保健福祉士、芸術療法士等の出席を得て、ニーズや課題、援助内容を検討している。担当医や参加できない職員は事前に情報提供を行い書面での参加としている。		☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・全ての人が満足する計画の作成は難しいと思いますが参加する方の負担も考慮して下さい。 ・療養生活の質の向上が図れている。 ・職員間の連携や勉強会等で家族も安心されている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	サービス計画書に沿ったケアの内容を共有しながら実践している。実践した内容は援助記録に残し、モニタリングは 3 か月毎に記録している。日常生活動作能力経過表の評価と共に必要に応じて朝のミーティングや千寿荘会議で提案し介護計画の見直しに繋げている。		☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・記録の作成は必要ですがもし簡略化できるところがあれば検討をお願いします。 ・職員間の連携、勉強会、情報交換で質の向上に努められている。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	千寿荘周辺の散歩、趣味のハーモニカ演奏、陶芸療法への参加、野菜収穫、家事手伝い（洗濯物干し・畳み、テーブル拭き、食器洗い、お盆拭き）等、利用者の状況、ニーズに応じた取り組みを提供し気分転換を図っている。			・お医者様が常時待機されているので本人、家族共々安心して入居させて頂いています。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「うれしの」「県民だより」の冊子や「新聞の読み聞かせ」で新しい情報を提供し地域・社会への関心に繋げている。コロナ禍ではあったがマイクロバスで「若木の大楠」見学に行き、帰りは車窓から工事中の「嬉野新幹線駅」を見学でき楽しむ支援が出来た。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者さんに身体的問題が発生した場合、医療機関への受診は、可能な限り本人とご家族の希望のかかりつけ医に、ご家族の協力を得て受診してもらっている。また協力医療機関である嬉野温泉病院や船津歯科医院と連携を図っていて受診がしやすい環境である。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	併設施設に利用者が入院された場合は希望により『在籍取り扱い』の申請をしてもらい、1か月間を限度に居室を現状のまま確保し戻れる体制を取っている。職員が面会に行き、病棟スタッフとの情報交換を行い、回復状況をみて再入所可能な場合は早期に退院できるようにしている。併設医療機関以外に入院の場合は地域連携室と連携し、診療情報提供書による情報提供を行っている。今年度は対象者はいなかった。			・地域医療機関との情報交換を行い連携体制を整えておいて欲しい。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「重要事項説明書」に重症化した場合の対応について明記している。急変時対応希望書に心肺停止や呼吸停止などにより、ご本人との意思疎通がとれなくなった時や、ご家族とすぐ連絡がつかない場合の対応について具体的な項目を選択して頂き、サインを得ている。ご家族の要望を取り入れるため、併設施設や地域の医療機関との連携を図っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家族や地域医療機関との連携が出来ている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に、勉強会を開催している。特に、急変時の連絡事項、AEDの操作など、発見時に備えての行動が取れるように、職員全員が併設病院の研修や伝達講習で使用出来るようにしている。配置換え間もないスタッフは、その都度、オリエンテーションを実施している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人全体での取り組みとして、火災や水害などを想定して、訓練に取り組んでいる。5月は夜間時の火災発生を想定した避難訓練が行われた。その際、千寿荘の全職員を対象として、消火器を使ったデモンストレーションを実施した。地域との連携については、併設病院のほか、運営推進委員の方の協力を得る体制も整えている。消火器や火災通報装置・スプリンクラーも設置されている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・いつ何が起こるか想定するのは難しいですが可能な限りの備えをお願いします。 ・日頃から防災に対する勉強会、職員間の情報交換が出来ている。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	基本方針の一つに「人権擁護」掲げ、接遇に関する標語を3か月毎に更新し、毎日唱和を行っている。責任者は、不適切な言動が無いよう、常にスタッフへ周知しており、徹底している。併設病院の教育委員会主催の研修で、人権擁護の研修に参加し、理解を深めている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・優しさ、思いやりの心を大切にして欲しい。 ・勉強会、研修会等で質の向上に努めて下さい。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	週間サービス予定表・日課表は作成しているが、利用者、一人一人のその日の状況、どのような思いを持ってあるのかを汲み取り、支援に繋げる様に取り組んでいる。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎月1日は、赤飯を提供している。季節に応じた旬の素材をメニューの中に取り入れて、一人ひとりの好みや咀嚼・嚥下機能を考慮して、メニューを決定している。又、咀嚼が不十分な利用者については、キザミ食で食べやすい工夫等で取り組んでいる。利用者の誕生会では、それぞれの好みをメニューの中に取り入れ提供している。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・食事は利用者が何よりも楽しみにされていると思いますのでこれからも様々な工夫をお願いします。 ・各個人に対するメニュー献立が確立されている。 ・季節感が味わえるメニュー作成がされている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	献立表の作成は、魚・肉・野菜など、栄養バランスを考えて、毎月担当者が考えスタッフへ共有している。魚は、近隣の魚屋さんと契約し、常に新鮮なものを提供出来ている。体重測定2回/月 取り組んでおり、栄養状態の管理を行っている。食事摂取量については、毎食ごとに記録に残している。水分については、食事以外に、10H. 15H. 入浴時などにお茶やコーヒー等、希望されるものを摂ってもらっている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	食事の際、口腔ケアは、自分でできる方、介助が必要な方など、能力に応じて個別に対応が出来ている。利用者の半数は、義歯を使用されている。毎日、洗浄後、保管している。ポリデント消毒も1回/週 以上 取り組んでいる。利用者から、口腔内の異常の訴えがあれば、速やかに、歯科受診出来るよう取り組んでいる。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・口腔ケア等指導、ケアの徹底がなされている。 ・医療機関との連携が取れている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	排泄回数と性状を日々観察し、排泄管理表にチェックし、個別の排泄状況を把握している。誘導はさりげなく早めに声掛けを行い、安易に紙オムツなどは使用せず、トイレでの排泄に向けた自立支援を行っている。又、便秘対応として、身体を動かしたり、食物繊維の多い食材を使うなどの配慮をしている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・高齢者は便秘傾向の為管理が大変ですね。 ・オムツ使用されてない事は良いですがオムツを使用すれば高齢者の行動範囲を狭めてしまう恐れがあるので可能な限り頑張ってください。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者に入浴時間や湯の温度を訪ね、希望された環境が提供できるように支援している。入浴は、一人づつを原則として、入って頂いている。洗身も自分で出来る範囲でゆっくりと取り組んで頂くように配慮している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の年齢、体調、基礎疾患などを考慮して、日々の生活リズムが円滑に出来るよう支援している。寝具は、一人ひとりにあったものを選択し、提供出来ている。眠れないときは、温かい牛乳や白湯を提供したりしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者のデータを事前にまとめ、担当医へ情報を提供し、指示を得ている。処方された内容は、薬の効果、副作用などをカルテにとじ、全スタッフで共有出来ている。看護師が、観察ポイントを全スタッフに伝え、症状の有無に応じた対応が出来ている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・薬の管理は大変と思いますが誤与薬を極力されない様お願いします。 ・副作用、誤嚥等に注意されている。 ・状態の把握に努められている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の思い・ご家族からの情報を基に、役割を決めている。日頃の活動としては、食事の準備・後片付け・食材の下ごしらえ、入浴後は洗濯物を干したり、畳んだりを行ってもらっている。嗜好品は、希望を聞き、提供出来ている。趣味の陶芸や楽器演奏、菜園などにも取り組まれている。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者・ご家族の希望を聞く機会を設けている。天気が良い時は、外気浴、菜園なども取り組んでいる。 4月 花見、5月 バスハイクで近隣地区まで外出し、気分転換と快の刺激をうけられることが出来た。 今後、嬉野駅、施設内の足湯、公園の散策なども計画予定である。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、1名の方が現金を自己管理されている。可能であれば、買い物先まで送迎し、自分の好きなものを購入できるような取り組みを行っている。体調不良で買い物難しい場合は、家族に依頼している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な利用者は、携帯電話を常時携帯されている。ほかにも、個人での管理が難しい方も、スタッフが手紙や LINE での動画通話など、代行して出来る事を日頃から考えて支援している。			

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	木造家屋の平屋建築、共有スペースの天井は吹き抜けであり、囲炉裏もあり開放的である。照明も家庭的な雰囲気で作られている。廊下は、直線で利用者の行動を一目で確認できる。居室は完全個室で、トイレ・収納も整備されている。出来る限り利用者の馴染の深い私物を置くなどして、家庭に近い環境を整えプライバシーの確保が出来ている。すべて、バリアフリーであり安全面にも考慮されている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・現在の生活環境が適している。 ・バリアフリーが出来ている。 ・プライバシーの確保が出来ている。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	朝の集いの時間に、その日の体調を含め一日の過ごし方について自己決定できる機会としている。思いや気持ちを出しにくい方には個別に関わり、その方の気持ちに沿うよう心がけている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご家族から利用者の生活史の情報収集し、介護計画に活かしている。その情報をケアマネジャーと担当者が共有し計画を作成、利用者を実施をしながら思いを聞き出し、サービス計画書の追加を行っている。データベースは、毎年更新し、最新の情報を基にサービス計画書に活かしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎日、活動開始前にバイタル測定、排便の確認、その他、体調に変化がないかを利用者へ尋ね異常の早期発見に努めている。精神面についても、利用者が不安や心配事が無いかを聞き、支援につなげている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・これからも体調管理をお願いします。 ・身体的、精神的把握が出来ている。 ・常に声掛けを行って不安をなくす様努められている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	週間サービス予定表や日課表は、個別に作成しているが、利用者のその日の体調を尋ね把握した上で、体調に応じた利用者本位の支援を行い、臨機応変に休息などもとってもらっている。必要に応じて主治医の診察も依頼している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができています	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者が在宅生活で大切にしていたバッグ、趣味（ハーモニカ）、家族の映っている写真等を居室に飾るなどで、なるべく自宅での生活に近い形で生活を送れるように配慮している。 1名は、陶芸の経験があり現在も2回/週参加され作品を作られている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	・生活環境に慣れているので職員の声掛けも大切にされている。 ・家族との連携、必要な情報を収集されている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができています	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	朝の集いで本日の予定のお知らせを行うと共に利用者からの希望を聞く機会を設けている。天気が良い日は、屋外で日光浴や菜園活動を行っている。利用者の体調も毎日チェックして、活動と休息のバランスを考えて支援している。			

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が家庭に近い形で生活を送って頂くよう、家事活動・昔の体験の想起・脳の刺激・リハビリなどに取り組んでいる。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者と関りを多く持ち、関心を示す内容、生活史の中で経験されてきた出来事を、活動の中で取り入れ、想起してもらう活動に取り組んでいる。利用者は、昔体験したことを昨日の事のようにスラ～と言葉が出てこられる。		☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・療養生活でも昔の事を活かし楽しく生活されるよう努められている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で、行動制限がされており、実際に近隣地区との関りは難しいが、院内の散歩や保育園児との交流、野菜収穫に取り組んでいる。行動制限緩和後は、積極的に外出を計画して行きたい。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者からは「良くしてもらってね」「ここで生活していると楽しかね。」との言葉がきかれている。ご家族については、LINE や動画通話で状況を伝えている事など、出来る範囲での関りを提供することが出来ている。		☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者から肯定的な意見が出て何よりです。 ・いつも父からは「良くしてもらっているよ」「ここは良かよー」と、とてもうれしい言葉が聞けています。 職員の方たちとのコミュニケーションも良好の様に感じております。 今のままで十分に良くして頂いていると思っています。 ・職員間の連携と接遇で家族も安心されている。 ・目配り、気配り、心配りに努め満足感を感じて頂けるよう継続して欲しい。